

## 石川県立伝統産業工芸館

# 「金沢・岐阜 ふたりのワガサシスト」展

### 取材のお願い

石川県立伝統産業工芸館では、「金沢・岐阜 ふたりのワガサシスト」展を下記の通り行います。伝統的な和傘の制作工程を詳しく紹介すると同時に、和傘生産の現状を広く知って頂く事を意図した企画展です。ぜひ取材して頂けますようお願い致します。

- ◆ **タイトル：** 「金沢・岐阜 ふたりのワガサシスト」展
- ◆ **開催趣旨：** かつては各産地ですべての工程を行っていた和傘作りではあるが、現在、傘骨もロクロも岐阜からの供給を仰がなければ、日本中どの産地でも和傘を作ることは出来ない。本企画展は、制作工程の詳しい紹介を通して、和傘作りの現状と課題を広く知って頂く事を目的としている。
- ◆ **企画展紹介：** 100以上もあると言われている和傘の制作工程ではあるが、傘骨作りまでの工程は現在金沢では行われていない。その為、日本中に傘骨やロクロを供給している岐阜の協力者の方々から道具、資料、実物をお借りして、和傘の制作工程の主要部分について詳しく紹介する。又、傘骨の美しさを見て頂くために、江戸末期に流行した「松葉」（骨を中ほどで半分に割いたもの）も併せて展示する。
- ◆ **会期：** 2014年6月4日(水) - 7月31日(木) 最終日は15:00まで
- ◆ **会場：** 2F 第4展示室
- ◆ **展示品：** 約80点
- ◆ **協力：** 岐阜市歴史博物館、(有)長屋木工所、(株)マルト藤沢商店、日本通運

### <出展者紹介>

#### 田中 富雄 (TANAKA Tomio)

岐阜県岐阜市生まれ、岐阜県瑞穂市在住

2002 株式会社マルト藤沢商店 入社  
和傘の張り師として従事

2009 金沢和傘伝承研究会設立時から、金沢市の依頼で講師として研究会員に張りの技術指導をする

2012 山田ひろみと工房明兔(みんと)を設立

#### 山田ひろみ (YAMADA Hiromi)

金沢生まれ。大阪で育ち、現在は金沢在住

金沢市工芸協会会員(木工芸)、金沢和傘伝承研究会会員、ときどき水引講師

2012 田中富雄と工房明兔(みんと)を設立

### <出展者からのひとこと・田中富雄>

「いい傘作ろう」を合言葉に、一人でも多くの方に和傘を知ってもらおうべく日々活動しています。「和傘志主人(わがさしすと)」とは、和傘工房・明兔の造語で、次のような意味を込めています。

「志」： 「いい傘作ろう」を合言葉に、伝統・伝承を後世に伝えるため志を持って和傘作りをしています。

「主」： あなたが和傘の持ち主であり、主人公です。和傘は、さす人を格好良く、素敵に魅せるアイテムであり、さしているあなたが主人公です。

手に持ちて 心和みし 和傘なれ

### <出展者からのひとこと・山田ひろみ>

色、和傘は作り手が選ぶ和紙によっていろいろな色がありますが、雨をはじくための油を引くことによって、和紙の風合いはとても変わります。自然光での透け感はマジックのようです。色々な和傘を見ていただき、是非、手にとって、和紙の透け感や油の香りを体感していただきたいと思います。和傘のある風景を金沢に「いい傘作ろう！」を師匠との合言葉に頑張っております。

### ◆ 併催イベント

#### 和傘 つなぎ・張り・かがりの実演

実際に、骨をつなぎ、和紙を張り、かがりをする工程を見て頂けます。職人さん達とのコミュニケーションを通じて、和傘の世界をのぞいてみませんか。

日時： 6月8日(日)、7月5日(土) 両日とも9:30-16:30

場所： 工芸館 1F

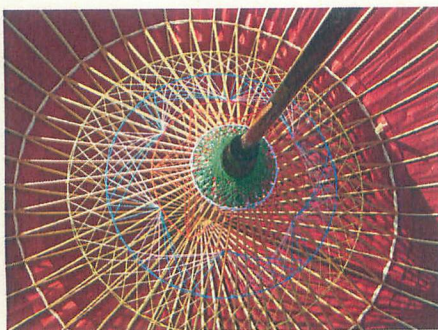
実演： 田中富雄さん、山田ひろみさん

参加： 無料

予約： 不要。直接工芸館へお越し下さい。

#### 和傘ワークショップ「かがり糸(千鳥がけ)に挑戦！」

和傘の中(内側)を彩る糸を「かがり糸」、金沢では「千鳥かけ」と呼んでいます。このかがりは、装飾のためではなく傘骨の補強のためのものですが、補強だけでなく、傘をさす方を楽しませる先人の知恵でもあります。今回のワークショップでは、出展作家、田中富雄さんと山田ひろみさんに教えてもらいながらこの伝統的なかがりにチャレンジしてみましょう。同時に、田中富雄さんの張りの実演もご覧いただけます。



日時： 7月6日(日) 10:00-15:00

場所： 工芸館 1F

講師： 田中富雄さん、山田ひろみさん

左は完成イメージ

内容： 今回のワークショップでは以下の2つのコースがあります。

① かがりの体験だけをする「かがり体験コース」

② 和傘を1本購入して頂き、その傘に自分のお好きな色でかがりを入れ、  
my 和傘を完成させる「my 和傘かがりコース」

※ 両コースとも、出来上がった傘を持って兼六園で写真撮影をして頂く事が  
できます。(兼六園の入園料は参加者負担)

参加： ￥2,500 (「かがり体験コース」お持ち帰りになれるものではありません)

￥20,000 (「my 和傘かがりコース」自分でかがりをした和傘をお持ち帰り頂  
きます)

定員： 両コース合わせて5名

予約： 6月30日までに電話でお申し込み下さい。(076-262-2020)

「my 和傘かがりコース」参加ご希望の方は、骨数が45本の蛇の目傘の、赤または紫  
の2色(無地)どちらかをお選び頂きます。



油を引いた和紙を通して体感する優しい光

糸つなぎが終わり、骨の間隔を整えたところ

問合せ及び取材申し込み先：

石川県立伝統産業工芸館 <http://www.ishikawa-densankan.jp/>

TEL： 076-262-2020

指定管理者ナカダ・クラフトプロジェクト

プログラム担当： 館長代理 柳井 篤子

携帯 090-3470-2469 E-mail: [707@nkding.co.jp](mailto:707@nkding.co.jp)